

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【公表番号】特表2017-513188(P2017-513188A)

【公表日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2016-557932(P2016-557932)

【国際特許分類】

H 01 J 65/04 (2006.01)

H 01 J 65/00 (2006.01)

H 01 J 9/20 (2006.01)

【F I】

H 01 J 65/04 Z

H 01 J 65/00 Z

H 01 J 9/20 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0070】

別の実施形態において、コレクタ素子105は、プラズマ106から放出された広帯域照明115(例えば、VUV放射、DUV放射、EUV放射、UV放射および/または可視放射)を集め、広帯域照明を1つ以上の追加の光学素子(例えば、フィルタ123、ホモジナイザ125など)に向けるように配置される。例えば、コレクタ素子105は、プラズマ106によって放出されたVUV広帯域放射、DUV放射、EUV放射、UV放射または可視放射のうちの少なくとも1つを集め、広帯域照明115を1つ以上の下流の光学素子に向けることができる。これに關し、プラズマセル101は、VUV放射、DUV放射、EUV放射、UV放射および/または可視放射を、限定されないが、検査ツールまたは計測ツールなどの当技術で公知の任意の光学特徴付けシステムの下流の光学素子に送達することができる。本明細書において、システム100のプラズマセル101は、限定されないが、VUV放射、DUV放射、EUV放射、UV放射、および/または可視放射を含む様々なスペクトル域において有用な放射を放出できることに留意する。